

1 継続事業

整理番号	事業名	事業の概要	市対応方針	評価委員会の意見 二本松市公共事業
1	温泉地観光施設整備事業(旧アークホテル)	<p>【事業目的】 岳温泉は、歴史ある温泉街であり、これまで安達太良山の玄関口として登山・スキー客等で賑わっていた。しかし、景気低迷や顧客ニーズの多様化に伴い客足が減少し、東日本大震災の影響もあり観光客の減少に拍車がかかっている状況である。 旧アークホテル跡地にイベント広場等となる施設を整備することで、ヒマラヤ通りに人の流れをつくり、地元商店や農家等の連携が図られ地域活性化の一翼を担うことを目指す。</p> <p>【全体計画】 敷地面積 2,719.5 m² 建築面積 248.10 m² 室内面積 70.25 m² (トイレ・授乳室・休憩室)</p>	事業継続	事業継続
2	硯石・大玉線道路改良事業	<p>【事業目的】 硯石・大玉線は、当市と、大玉村・本宮市・郡山市を結ぶ幹線道路となっており、国道4号・東北自動車道の万一の事態の迂回路とした補完路線として位置づけられている。 年々大型車の交通量も増加しているが、現道は、狭隘・急カーブであり、橋梁の質的改良も必要であるため、車道拡幅と歩道の整備を行い円滑な移動と安全確保を図る。 県事業において、起点側国道459号が改良されていることから、取付部(交差点)を新設改良するもの。</p> <p>【全体計画】 整備延長 L=300m 整備幅員 W=6.0(10.0)m 橋 梁 N=1橋(橋長20m) 補償家屋 N=1件</p>	事業継続	事業継続

2 新規事業

整理番号	事業名	事業の概要	市対応方針	評価委員会の意見 二本松市公共事業
1	住宅団地造成事業 (二本松駅南地区)	<p>【事業目的】 市営住宅立替事業（茶園地区）の完了に伴い発生した老朽化市営住宅除却後の跡地は、二本松駅から近く、利便性の高い地区にあるが、活用されていない状況である。 同地に新たな住宅団地を造成し、跡地の有効活用を図るとともに、中心市街地の人口増加と活性化を目指す。</p> <p>【全体計画】 全体面積 約 13,000 m² 住宅用地 約 7,000 m² 区画数 30 前後 道路等 約 3,000 m² 緑地 約 700 m² 調整池 約 2,000 m²</p>	計画に沿って事業実施	計画に沿って事業実施
2	芝生広場の整備（サッカー場）	<p>【事業目的】 平成 30 年度まで杉内多目的運動広場は東日本大震災被災者の仮設住宅地として利用されてきたが、仮設住宅撤去後の利用方法として、子どもからお年寄りまで多くの市民が定期的に自らの健康状態に合わせてスポーツを楽しむことにより、健康な心と身体を育み、市民の幅広い年代にサッカーに親しんでもらい、運動する機会を増やすため、サッカー場を整備する。</p> <p>【全体計画】 用地 3.3 ha 整備内容 サッカーグラウンド2面 管理棟 1 棟 夜間照明設備 駐車場・調整池 約 2,000 m²</p>	計画に沿って事業実施	計画に沿って事業実施